



NEDO事業カタライザー

2024年3月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
イノベーション推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミューザ川崎セントラルタワー（総合受付16F）
TEL : 044-520-5170 FAX : 044-520-5177

有馬 暁澄

Beyond Next Ventures株式会社 投資部門所属 パートナー



慶應義塾大学工学部生命情報学科卒業。

卒業後、丸紅株式会社に入社。穀物本部にて、トレーディング事業を通じて生産から販売までのアグリ全般に携わる。また、同社内有志でアグリテックを中心とした投資チームを立ち上げ、スタートアップ投資にも従事。

2019年8月、Beyond Next Ventures株式会社に参画。アグリテック・フードテックなどライフテック全般を中心に投資担当として従事。

また、アグリテックに関する産学官連携エコシステムの構築に向けても邁進。
担当支援先: インテグリカルチャー、リージョナルフィッシュ、SECAI MARCHE、
グランドグリーン

安藤 誠

GOOD-FOUR-WAYS 代表 株式会社テムザック 常勤監査役



1982年大阪大学 基礎工学研究科 情報工学専攻 修士課程修了。

パナソニック株式会社に34年半勤め、米ベンチャー企業や米大手ソフト会社との協業によるデジタルAV製品の商品設計責任者を経て、本社経営企画、社内分社AVC社企画部長、衛星並びにケーブルの端末・センター機器事業の事業部長などを歴任。総務省各種委員会へのパナソニック代表構成員、審議会への報告者などを務めた。

2016年9月のパナソニック退社後、2018年8月まで業務用冷蔵庫メーカーのサンテツ技研で取締役・統括部長(兼)営業部長、2018年3月から2022年3月までの4年間、NISSHA株式会社の社外取締役として、上場企業のガバナンスに参画。並行して、2019年1月にGOOD-FOUR-WAYSを開設し、食品製造業、民泊事業、技術者派遣業、総合病院などの事業拡大支援を行なうコンサルティング業を展開(現職)。

2022年12月に、ワークロイドロボットのベンチャー企業である株式会社テムザックの常勤監査役に就任(現職)。

事業を通じて社会課題を解決するという理念をもった経営者達に伴走し、一緒に切磋琢磨することで、多くの人材を産み出すことが自国だけでなく世界発展につながると考えて、事業や経営という場での学びを続けたいと思っています。

伊藤 信雄

証券設計株式会社 代表取締役

未来を共に拓きましょう！



【実績】

NEDO支援企業へのVC資金調達成功の実績複数あり。
経営者と共に悩み・考え、解を導きだす支援が信条です。

- 1995年 日本銀行入行 多数の銀行の立入審査等に従事。
- 2000年 イーバンク銀行(現 楽天銀行)経営企画部長 業界初の独立系オンライン銀行の起ち上げに参画し100億円規模の資金調達を行う。
- 2003年 投資ファンドに移り小売業の企業再生の現場で汗をかいた後、独立。
以後、スタートアップの資本政策・M&A・内部管理体制構築を幅広く行い、CFOとして組織管理も行う。業種としては、製造・IT・バイオ・ロボット・AI・コスメ・飲食・金融まで幅広く支援。
- 2015年 ミナトホールディングス(ジャスダック上場、電子デバイスメーカー)の取締役企画担当として増資・M&A・新規事業等を管掌し業績拡大に貢献。
- 2018年 退任後、スタートアップ支援に戻り複数の特にシードからレイター期に至るまで、戦略策定・実行、大型資金調達、管理体制構築等を支援。ディープテックでは、特にロボット、化学、医療機器、電子機器等の企業の戦略構築等に伴走実績がある。

常に現場と市場の両方を俯瞰した具体的なアクションを重視。経営者の想いをじっくり伺いながら、よりベターな解を共につくっていくサポートを大切にしている。

デジタルハリウッド大学客員准教授、東京都NEXsメンター、(社)日本証券アナリスト協会会員

【学歴】

- 1995年 慶応義塾大学経済学部卒業
- 2008年 一橋大学大学院国際企業戦略研究科修了(金融戦略専攻)

井本 潤一

ニッセイ・キャピタル株式会社 チーフベンチャーキャピタリスト



京都大学大学院工学研究科材料化学専攻修士課程修了。

富士フイルムにて医薬品等の研究開発に従事したのち、Thomson Reutersにて特許・文献情報関連業務に従事。2015年よりニッセイ・キャピタルにて主に研究開発型ベンチャー企業への投資を担当。

岩佐 琢磨

株式会社Shiftall
代表取締役 CEO



2003年からパナソニックにてネット接続型家電の商品企画に従事。

2008年より、ネットワーク接続型家電の開発・販売を行なう株式会社Cerevoを立ち上げ、30種を超える自社開発IoT製品を世界70の国と地域に届けた。

2018年4月、新たにハードウェアを開発・製造・販売する株式会社Shiftallを設立し、代表取締役CEOに就任。

2020年よりVR/メタバース向けハードウェア領域に進出し、2024年現在主力事業としている。

個人活動として、ハードウェアスタートアップへの投資・支援、海外展示会出展アドバイザー、大学講師などを行なう。

岩田 紘宜

環境エネルギーイノベーションコミュニティ 事務局メンバー



CIC TokyoとU3イノベーションズが立ち上げた環境エネルギーイノベーションコミュニティの運営を通じて、イノベーション・エコシステムのステークホルダーが集う多様な活動によるスタートアップの成長やスタートアップ・大企業・研究機関・行政機関等の協業を通じたイノベーション創出を支援している。

過去には、東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻を2013年修了後、プラントエンジニアリング会社、ベンチャーキャピタルにてグローバルに環境・エネルギー分野の技術開発・事業開発・ベンチャー投資に従事。2024年現在、東京大学大学院工学系研究科技術経営戦略学専攻(博士課程)および未来ビジョン研究センター(リサーチ・アシスタント)にて気候変動とイノベーションを研究する。

同時にメンターやアドバイザー等として、英国ケンブリッジ発の気候危機に対応するベンチャービルダーCarbon13や米国の気候テックエコシステムThird Derivative等の世界の気候テックイノベーションの支援団体を応援する。

大木 美代子

Serend LLC
創業者・プリンシパル



日本IBMソフトウェア事業部にてグローバルチャネルマーケティングの日本部門を担当後、2000年に渡米。シリコンバレーの複数の大手IT企業・スタートアップにて事業開発、インキュベーターにて起業家育成に従事する。2012年11月に独立し、Serend社を創立。サンフランシスコベイエリアを拠点とし、アメリカ及び日本のスタートアップ・中小企業・大企業・アカデミア・政府機関などに対して、ITを機軸とした新規事業創出支援を行っている。

...

日本のスタートアップのエコシステムは以前と比べると格段に進化してきましたが、グローバル市場でのプレゼンスはいまだ低いのが現状です。世界で活躍する日本のスタートアップを更に増やせるよう支援してまいりたいと考えております。

岡田 朋之

WiTricity Corporation, Vice President of Business Development
JABI (Japan America Business Initiatives) 理事
Silicon Valley Alliances (SVA) 共同創始者、ビジネスデベロップメント



日米の大企業やスタートアップ企業をつなぐ、シリコンバレー在住の技術営業コンサルタント及びアドバイザー。

米国モトローラにて携帯電話開発エンジニア、設計開発チームのマネージャーを経て、日本モトローラに赴任。新規R&Dプロジェクトマネージャー、次世代携帯電話技術部長、モトローラジャパンPCS事業部長、モトローラアジアパシフィック バイスプレジデント、モトローラジャパン 常務取締役を経て、米国に帰国。

シリコンバレーにて携帯電話OSのスタートアップ、組み込みソフトウェア企業の米国社長兼本社役員やシリコンバレーベンチャー企業の社外取締役を歴任後、ワイヤレス充電、ソフトウェアツール、IoT・HEMSデバイス、EVSEや物流やサービスロボット等の、ビジネスコンサルタントや企業アドバイザーとして活動中。また、ボストンMIT発スタートアップ、ワイトリシティのビジネスデベロップメント担当バイスプレジデントとして、自動運転EVやロボット向け ワイヤレス充電技術の普及活動をしている。専門分野はオートモーティブ、半導体、デバイス、ソフトウェア、IoT、通信、及びモノづくりやサービスビジネスなど。

シリコンバレーを拠点に、日本のスタートアップ及び中小企業の米国進出支援、大企業のグローバルマネジメント支援を行っている。経済産業省委託事業の 始動Next Innovatorメンター、NEDO NEP カタライザー。アリゾナ州立大学電子工学科卒

LinkedIn: <https://www.linkedin.com/in/tom-okada-16044a/> (4300 contacts)

共著: Turning Ideas Into Impact: Insights from 16 Silicon Valley Consultants

奥 祐介

360ipジャパン株式会社 投資マネージャー



1978年生まれ。東京農工大学工学研究科修了後、日本アジア投資株式会社へ入社。

合計約10年間にわたり、海外(シンガポール、上海)に駐在し、東南アジア、中国、台湾等のヘルスケア、ICT業界を中心に現地ベンチャー企業への投資を担当。

2017年に米国バテル記念研究所等により設立された、技術商業化機関360ipジャパン株式会社へ入社。

ファンド投資事業の立ち上げ・運営及びアクセラレーターを通じた、技術系スタートアップの創出、支援に従事している。

片岡 良友

YKファーマコンサルティング 代表



東京大学薬学部卒業後、1978年4月に日本チバガイギー株式会社(現:ノバルティスファーマ株式会社)に入社。その後、日本イーライリリー社、日本オルガノン社(現:MSD社)にて勤務。この間、経営企画、事業開発、マーケティング、新製品企画等の業務に携わった。

2007年8月、名古屋大学発のバイオベンチャーに移り、2008年3月からCEOとして、資金調達、ならびに、グローバル製薬企業、バイオベンチャー、アカデミアとの共同研究契約等を締結し、研究活動を推進した。

2013年9月から、主にバイオベンチャーを対象に、アドバイザー・顧問として、資金調達、ライセンス交渉、マーケティング、研究開発等に関する支援を行ってきた。

その後、2016年11月に早稲田大学発の医療機器開発スタートアップを起業しCEOに就任。2018年1月には熊本大学発の新薬開発系スタートアップを起業し、CEOに就任、現在に至る。

医療機器、医薬品、診断薬などのライフサイエンス領域において、革新的なアイデア、イノベーションの実用化を目指してスタートアップ設立を計画されている起業家の方々に対して、これまでの経験を生かして様々な形で支援したいと思っています。

加藤 晴洋

IVF(イノベティブ・ベンチャ・ファンド)パートナー
AZCA Inc. パートナー



東大大学院(工学系)卒業後NEC入社。コンピュータSEとして勤務後、米国MITスローンスクール留学。帰国後本社企画部で経営戦略スタッフを10年以上従事。その間新事業御立上げ等も経験。

1990年代半ばから米国駐在。そこでNECのCVC立上げや新事業立上げ等を経験。一旦帰国後、事業開発部門でM&Aやスタートアップへの投資を経験。その後再度米国に渡り、シリコンバレーでVC経験(12年)。同時に新事業開発関連のコンサルティングにも従事。

2013年に帰国後、現在のIVFでVC投資に従事する傍ら、東大で起業家教育、NEDOでのSUI等のプログラムでのスタートアップ育成、TEPでのエンジェル投資、等々、日本のベンチャ・エコシステムの様々な局面を経験。投資先スタートアップの取締役も数社兼務。

木嶋 豊

株式会社アイピーアライアンス 代表取締役社長



日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。ハーバード大学客員研究員としてイノベーション論の研究に従事。知財投資系VCの取締役、テックVCの投資総括常務執行役員を務め、現在(株)アイピーアライアンス代表取締役社長として、個別企業への経営提案を行い、多くの企業の業績向上に貢献している。幅広い業種の経営戦略補佐役として、15社以上の社外役員等に就任。メンター、エンジェルとして、ベンチャー投資を30社以上に行いつつ、国内・海外ベンチャーキャピタルの投資アドバイザーや投資決定委員を兼任。サンフランシスコ州立大学客員教授を兼任。亜細亜大学都市創造学部元教授。

主な著書・論文に「企業の成長戦略が10時間でわかる本」(あさ出版)、「カーブアウト 経営革命」(東洋経済新報社)等。

東京大学法学部卒、英国ヘリオットワット大学エジンバラ校(MBA)修了、東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻工学博士、米国公認会計士(U.S.CPA)。

AMED 創薬ベンチャーエコシステム強化事業等の審査委員長、
JST 出資事業(SUCCESS) 推進プログラムオフィサー、
NEDO 各種補助金採択委員長等歴任。

木立 宜弘

株式会社ボイズクラフト 代表取締役



第一勧業銀行(現みずほ銀行)国内・海外本支店勤務後、三井住友海上キャピタルで大学発スタートアップ中心に約9年間投資活動を行い、2012年ボイズクラフトを設立。主にシード～シリーズA段階の研究開発型スタートアップに対し、「事業と技術の魅力を第三者に正しく、分かり易く伝える」をスローガンに、マイルストーン設計、資本政策策定、提携戦略立案等の支援を行っている。

支援先には、数ヶ月～数年単位のプロジェクトベースで参画するケースが多く、資金調達、M&A、管理部門立上等、40件(社)以上の実績がある。

国際基督教大学(ICU)教養学部卒、慶応義塾大学経営管理研究科(MBA)修了、
日本証券アナリスト協会会員
講演・講義 「テクノロジーベンチャーの資本政策」、「M&Aのプロジェクトマネジメント」、「聴き手に響くピッチ作り」、他

木村 英一郎

東京工業大学環境・社会理工学院イノベーション科学系
教授（イノベーションデザイン機構 連携教授兼任）

技術経営(MOT)



【業務内容／実績】

- 技術経営(Management of Technology/MOT)の推進、研究、教育
- 大学発スタートアップの創業支援、資金調達支援、事業拡大伴走
- M&Aによる非連続成長戦略策定／M&Aの実行／ベンチャー投資／VC出資
- 技術経営、新規事業の企画、推進／ヘルスケア・健康・栄養領域での新規事業戦略、事業計画、事業基盤整備の実行、
- 内閣府総合科学会議事務局としてライフサイエンス分野の政策策定、産学官連携推進
- 新規事業・イノベーション推進基盤・体制の整備／米国オープンイノベーション組織立上げ、研究成果の事業化加速体制構築
- 海外での新規事業立上げ／グローバル生産体制、販売体制構築経験
- M&Aした海外法人のガバナンスとシナジー創出、PMIの推進／組織風土改革のリーダーシップ

●主たる職歴

2023年4月～ 現職、兼業として、複数の食品会社の顧問・アドバイザー等を兼任

2020年7月～2023年3月 江崎グリコ株式会社 経営企画部事業開発担当部長

・新規事業開発、国内外スタートアップ投資、VC投資、米国ヘルステック社外取締役

1991年4月～2020年6月 味の素株式会社

- ・企業買収・合併(M&A)業務、ベンチャー投資、国内外のスタートアップ社外取締役、
- ・研究者180人規模の基礎・先端研究部門所長
- ・神奈川県技術顧問
- ・米国(サンディエゴ)のバイオ医薬品受託製造子会社で経営メンバーとしてトップマネジメント
- ・再生医療関連新規事業 海外事業立ち上げ業務
- ・北米オープンイノベーション拠点立上げ(米国ニュージャージー州)
- ・スタンフォード大学医学部循環器学科 ポストドクトラルフェロー(米国パロアルト)
- ・内閣府出向 総合科学技術会議事務局(ライフサイエンス分野) 上席科学技術政策調査員として国の科学技術政策の調査・企画・評価
- ・バイオテクノロジー、分子生物学、アミノ酸生産技術開発 海外工場技術導入等

木村 忠昭

株式会社アドライト
代表取締役



大学院卒業後、大手監査法人に入社し、株式公開支援業務に従事。

その後、2008年よりスタートアップ企業へのハンズオン支援を行い、国内では東京大学発ベンチャーの株式会社ユーグレナはじめ5社が上場、海外においては10社がM&A等によるEXITを果たす。

現在は、イノベーション支援企業である株式会社アドライトの代表として、新規事業化支援総合プログラム「[INTRAPRENEURz\(イントレプレナーズ\)](#)」や、ネットゼロのための共創プラットフォーム「[SUITz\(スーツ\)](#)」の提供を行う。

内閣府やJAXAをはじめとする行政機関やコミュニティの委員など多数歴任。

桑原 優樹

JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社 プリンシパル



2012年、日本総合研究所に入社。通信・メディア・ハイテク産業等における事業戦略策定・研究開発戦略策定・新規事業創出などに関するコンサルティング業務に従事したほか、国の研究開発型ベンチャー支援プログラムの運営にも従事。
2018年、産業革新機構(現INCJ)入社、スタートアップへの投資や大企業との共同投資による新会社の設立などのベンチャー・グロース投資および投資先のバリューアップに携わる。2020年8月よりJICベンチャー・グロース・インベストメンツに参画。

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻修了

技術を起点として新しい事業を創り出そうとするスタートアップの皆様をご支援出来ればと考えています。

坂本 教晃

株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
取締役COO パートナー/マネージングディレクター



【PROFILE】

経済産業省では、中小企業金融円滑化関連法案や家電リサイクル法の法案作成業務や未踏ソフトウェアプロジェクトに従事。退官後、アパレル流通のファミリービジネスに参画し、新規事業立上げ及び事業整理を実施。

McKinsey&Company では、日本・東南アジア・欧州を中心に製薬、医療機器、自動車、ハイテク、消費財、金融機関等の業界各社に対し、営業・マーケティング、SCM、M&Aに関するプロジェクトに従事。

2014年度総務省 I-Challenge! や、2015年 NEDO TCP の最優秀賞及び優秀賞採択案件、2016年 経済産業省 IoT Lab Selection グランプリ案件をサポート。アントレプレナーシップ・チャレンジ2017において最優秀賞をサポート。

【CAREER】

東京大学経済学部卒業後、経済産業省入省。2008年経済産業省退官、流通事業会社の副社長を経て、コロンビア大学経営学修士(MBA)。McKinsey&Company のエンゲージメントマネージャーを経て、2014年8月にUTEC参画。

佐藤 大樹

フリクエンシーラボ株式会社



2003 大学を卒業後、株式会社ドワンゴに入社、在籍中にエンジニアオブザイヤーや特許貢献など表彰多数

2006 ウノウ株式会社に入社、システム開発の傍ら、Software DesignやWEB+DB Press等に技術記事を寄稿

2008 株式会社アドクラウドを設立、代表取締役役に就任

2012 株式会社オウルデータを設立、代表取締役CTOに就任

2014 株式会社サイバーエージェントが株式会社オウルデータの株式を取得し完全子会社化

2015 GMOアドパートナーズグループが株式会社アドクラウドの株式を取得し完全子会社化

2016 買収先のGMOアドマーケティングにて取締役CTOに就任(2020/03月末に退任)

2016 フリクエンシーラボ株式会社を設立 代表取締役役に就任(現任)

2020 経済産業省 国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構よりSSAフェロー認定

現在は量子関連技術の研究開発、Tech系ベンチャーに複数社エンジェル出資、アドバイザーや技術顧問、POC、技術系大学初ベンチャーや社内ベンチャーの立ち上げ支援を行っています。

清水 仁司

ポラリス合同会社 代表社員



大手非鉄金属メーカーにて超電導材料・応用機器の研究開発、生産技術、品質保証、製造、営業技術、マーケティング、技術・事業企画など、製造業における主要な業務に従事。高温超電導材料の発見を身近に体験したり、CERNのLHC(加速器)やITER(核融合)など大型国際プロジェクト対応を主導した。

現在はものづくり企業の経営コンサルティングを主業務として、慶応藤沢イノベーションビレッジと横浜市産学共同研究センターのインキュベーションマネージャーも務める。また、スピンアウトベンチャー発掘から事業化への支援にも取り組んでいる。

2018年度国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施した研究開発型ベンチャーの支援人材を育成する高度専門支援人材育成プログラム「Technology Startup Supporters Academy(SSA)」を修了。

資格等： 中小企業診断士
NEDO SSAフェロー
JBIA認定インキュベーション・マネージャー

進藤 圭

ディップ株式会社 執行役員 商品開発本部 次世代事業統括部長



早稲田大学を7年かけ卒業後、ディップに新卒入社。営業職、ディレクター職を経て、開始後3年で15億円の売上に成長した看護師人材紹介「ナースではたらこ」事業化をはじめとし、40件以上のサービス企画に参加。直近では「FAST RPA コボット」を提供するAI/RPA事業がある。

現在は新規事業責任者、「聖地巡礼マップ (<https://seichimap.jp/>)」、人工知能ニュース「AINOW (<https://ainow.ai/>)」、スタートアップニュース「StartUpTimes (<http://startuptimes.jp/>)」チームを担当。

アクセラレーターでは「AI.Accelator」「HR-HackFund」「Gakucelator」「受託アクセラレーター」を運営、Google for Startups Accelerator mentor、「ASAC」青山スタートアップアクセラレーター、「OIH」大阪イノベーションハブメンター、「kansAI0.6」関西AIアクセラレーターメンター。

また投資担当として年間15社程度の投資を担当。投資先はhachidori、GAUSS、JOLLYGOOD、Marketing-Robotics、Apparray、キャスター、コグニティ、Amplified.ai、Tsunagu.ai、Foxsy、Oceans、Tutorial、Lightblue Technology、ウリドキネット、Trunk、MILIZE、ポリグロツツ、アントワークス、ブレイブソフトなど。文科系な活動ではTBSラジオ「好奇心家族」ニュース解説者、「いちばんやさしいRPAの教本」 (<http://amzn.asia/d/9XwDhrC>) を出版。

曾我 弘

株式会社カピオン 代表取締役



静岡大学工学部卒業、東京大学工学博士

新日鉄退社後、1991年にシリコンバレーに移住。画像圧縮技術開発のベンチャー企業 Eidesign Technologies, Inc. を設立、経営。1996年に Spruce Technologies, Inc. を設立。

DVDオーサリングシステムを開発・商品化し、今日のDVD普及の一翼を担う。旗艦商品「DVDMaestro」はディズニーに採用されハリウッドでのデファクト標準になり、大手企業の顧客を獲得した。最終的に、同社をApple Computerへ売却。

2010年に帰国後、日米間のオープンイノベーションを目指し活動中。東北大学と共同事業化の市場調査のためシリコンバレーにBlue Jay Energy, Inc. を吉川絵美と共同で設立。現在は日本大手企業と共同でインドネシアでの事業化を検討中。

2011年から能登左知氏と(株)カピオン(<http://www.kapion.net>)を起業し、現在はNEDO支援の起業家を中心に幅広く、東京大学、慶応大学大学院等でシリコンバレー流起業手法による研修とメンタリング活動を実施。21C クラブメンバー。

著書「新版シリコンバレー流起業入門」(同友館2013)

著書「新版シリコンバレー流CXOチームビルディング」(同友館2015)

高松 孝行

ブランシェ国際知的財産事務所 共同代表弁理士



東京工業大学大学院理工学研究科 原子核工学専攻修士課程卒業
一橋大学大学院国際企業戦略研究科専攻 知的財産コース修士課程卒業

2015年～ ブランシェ国際知的財産事務所開設

2010年～2015年 独立行政法人産業技術総合研究所(現国立研究開発法人産業技術総合研究所)

2007年～2010年 財団法人日本産業技術振興協会 産総研イノベーションズ(経済産業省認定TLO)

国内外における特許、実用新案、意匠、商標に関する権利化だけでなく、ライセンス契約や知的財産権侵害訴訟等の業務を行ってきました。特に、公的研究機関に所属していた際には、ライセンス契約や共同研究契約等の知的財産に関する契約を1000件以上担当した経験を有しています。

そして、数多くの企業様とのお付き合いを通じて、ビジネスを成功させるための知的財産の活用方法を自分なりに理解してきました。これらの経験を活かして、起業家やスタートアップ企業を支援して行きたいと思っております(近年は、特に医療機器開発企業やIT企業へのサポートに力を入れています)。

竹内 裕明

先端起業科学研究所 所長 イノベーション・エディター

関西学院大学法学部法律学科卒業



【実績(職歴を含む)】

- 株式会社ホロニック多摩
 - ※知的所有権担保等、新規事業向けファイナンス商品開発
 - ※通信事業、不動産事業等の新規商品開発、新規市場開拓
- 志太起業研究所(シダックス)主任研究員/志太起業塾(運営及び講師)志太ファンド(投資・ハンズオン)
- 株式会社生体分子計測研究所 監査役(現任)
- 大阪市立大学工学部「応用情報」/同大学院「グローバル経営論」
- 阪南大学経済学部「起業塾」非常勤講師(現任)

【最近の支援案件】

- ・医療機器、福祉機器開発、検査試薬開発
- ・環境緑化・植物工場・再生エネルギー技術・バイオマス発電等。
- ・モビリティサービス、画像処理関連技術、食品検査事業、他。
- ・コミュニティビジネスの再生、アーティスト育成。

【主な著書】

「利益を生み出す「売上計画」達成のシナリオ かんき出版

「事業計画がしっかり作れる本」 かんき出版

学生時代より、新規事業開発に関わり、現在まで一貫して新規事業立ち上げ、新商品開発の仕事に携わってまいりました。先端起業科学研究所を立ち上げ、シーズからの創業から上場企業の新規事業立ち上げ、新商品開発までスタートアップフェーズを専門に幅広い分野を支援してまいりました。特にマーケットが未成熟な分野での事業計画立案を得意とし、特定分野にとらわれず、分野を跨いで事業を編集するお手伝いをしております。よろしくお願いいたします。

竹林

—

京都大学経営管理大学院 客員教授

前オムロン株式会社 イノベーション推進本部 シニアアドバイザー



オムロン(株)にて大型プロジェクトのプロジェクトマネージャ、新規事業の開発、オムロンソフトウェア代表取締役社長、オムロン直方代表取締役社長、ドコモ・ヘルスケア代表取締役社長、オムロン株式会社イノベーション推進本部インキュベーションセンタ長、同シニアアドバイザーを歴任。

現在京都大学経営管理大学院客員教授、麗澤大学客員教授、大阪大学フォーサイト株式会社エバンジェリストおよび上場企業の社外取締役等を務める。

特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント協会 PMマイスター。一般社団法人2030質価値創造研究会顧問。著書に「たった一人からはじめるイノベーション入門」「モバイルマーケティング進化論」「PMO構築事例・実践法、利益創造型プロジェクトへの三段階進化論」等がある。

辰野 博一

合同会社タツノ経営デザイン代表社員
早稲田大学リサーチイノベーションセンター
アントレプレナーシップセクション シニアコンサルタント



2002年京都大学大学院エネルギー科学研究科終了後、松下電工株式会社(現パナソニック株式会社)入社、オーラルケア商品の商品企画・マーケティング業務に従事。
2013年9月に退社し、早稲田大学大学院商学研究科にて中小製造業の技術経営、自社製品開発に関する研究活動を経て、経営コンサルタントとして独立。中小企業診断士。
テック系スタートアップが持つ優れた技術の事業化に向けて、マーケティング視点に立った市場機会の探索・発見、事業コンセプトの設定などの様々な課題を、起業家と一緒に考えていきたいと思っています。

【公職・実績】

- ・早稲田大学リサーチイノベーションセンターアントレプレナーシップセクションにて、大学での研究成果事業化のための教員・学生の創業支援や、大学発スタートアップの事業支援
- ・専修大学経営学部兼任講師(科目名「デザインと経営」)。
- ・福島イノベーション・コスト構想推進機構主催「Fukushima Tech Create ビジネスアイデア事業化プログラム」メンター
- ・Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC) サポーター
- ・ユニコーンファーム主催Startup Advisor Academy認定スタートアップアドバイザー
- ・かわさき新産業創造センター(KBIC) インキュベーションマネージャーとして研究開発型スタートアップの事業支援(2020年まで)

田辺 英二

株式会社エーイーティー 代表取締役会長



1968年、静岡大学工学部卒業。

1975年、米国デューク大学大学院博士課程終了後、シリコンバレーのバリアン社とスタンフォード大学との産学連携プロジェクト”Hyperthermia”及び“超小型マイクロ波加速器開発”に従事。

1978年、バリアン社マイクロ波研究室マネージャーに就任、マイクロ波の医療応用及び工業応用の開発責任者として電子加速器、マイクロ波装置、放射線装置の開発に従事。

1986年、シリコンバレーにAET Associates Inc. を設立、Presidentに就任。

1988年、川崎市に株式会社エー・イー・ティー・ジャパン(現:株式会社エーイーティー)を設立、代表取締役社長に就任。

2001年、東京工業大学原子炉工学研究所講師に就任。

2002年、東京大学大学院工学研究部門非常勤講師に就任。

2005年、株式会社アキュセラを設立、代表取締役に就任。

2021年、株式会社エーイーティーの代表取締役会長に就任。

電磁波、マイクロ波、光、プラズマ、荷電粒子、X線応用に関するソフトウェアとハードウェアの技術を中心に、通信、医療等の分野において新製品の開発、製造、販売、輸出入、サービス事業の展開を行うと共に、東京大学大学院にて教育、開発に取り組みながら日米における先端技術のビジネス経験を基に、国際的に産学連携とベンチャー育成を推進している。また、がんの高精度集学治療とセカンドオピニオンのNPO活動を行っている。

辻川 大

JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社 プリンシパル



略歴(主に学歴)

1992.3 大阪大学基礎工学部機械工学科卒業

2001.3 慶応義塾大学大学院経営管理研究科(MBA)修了

実績(職歴を含む)

1992.4～1999.2 株式会社東芝(交通事業部にて研究、開発、設計、生産企画)

2001.6～2004.8 GE横河メディカルシステム株式会社(現GEヘルスケア・ジャパン。経理部門にて製造・技術・調達部門のファイナンシャル・アナリスト)

2004.9～2019.4 三井住友海上キャピタル株式会社(ベンチャー投資部門にてパートナー)

2019.5～2020.8 新生キャピタルパートナーズ株式会社(ベンチャー投資部門にてパートナー)

2020.9～現在 JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社(ベンチャー投資部門にてプリンシパル)

心情を含めてPR

モノづくり企業の開発から経営、経理といった幅広い業務経験と、大学院でのイノベーション研究の経験を経て、ベンチャーキャピタリストとしては、モノづくり、バイオ、IT等、テクノロジー・ベンチャーを中心に幅広い領域への投資を実施。リード・ハンズオン投資に多く関わったことで多くの起業家を支援してきました。今後も、イノベーションで世界を変えたいという志の高い起業家のお役に立てればと考えています。

津嶋 辰郎

株式会社INDEE Japan 代表取締役 マネージングディレクター



大阪府立大学航空宇宙工学修士。

小学校時代に少年剣士として日本一を達成。大学時には人力飛行機チームを創設し、鳥人間コンテストでは2度の優勝と日本記録樹立を果たす。その後、レーシングカーコンストラクターである童夢に参画し空カデザイナーとしてシリーズチャンピオンを獲得。半導体製造装置ベンチャーのスタートアップメンバーとして事業立ち上げを先導の後、iTiDコンサルティングに入社。国内大手メーカーの新規事業立ち上げ支援、新製品開発支援など多数実績を持つ。

現在はイノベーションコンサルティング、新規事業立ち上げを専門とする技術の分かる事業家集団INDEE Japan (<http://www.indee-jp.com/>)を設立し、昨今は様々な新技術を活用したロボット、メディカル・ヘルスケア、エネルギー、IoTなど幅広い分野での事業アクセラレーションを行っている。

INDEE Japanは世界的なイノベーションの権威であるクレイトン・クリステンセン教授設立のINNOSIGHT (<http://www.innosight.com/>)の日本唯一のパートナーでもある。不確実性の高い事業立ち上げプロセスを極めて分かり易い体系で伝えるだけでなく、それに不可欠なマインドセット、哲学および当事者の思いを重視するスタイル。理論はあくまで共通言語、実践こそが価値を生み出すと考える、自らもゼロイチの世界に最大の価値を感じる起業家である。

津田 真吾

株式会社インディージャパン
代表取締役テクニカルディレクター
INDEE Singapore Pte. 取締役



日本IBMの社内ベンチャーであるハードディスクの研究開発に携わり、パソコン黎明期をエンジニアとして過ごす。取得特許は18件で、電気・制御・ソフトウェア・機械設計など多岐にわたる。コンサルティングを経て“新規事業の特殊部隊”であるINDEE Japanを2011年に共同創業。

ハーバード大クリステンセン設立のイノサイトと提携、破壊的イノベーションの理論を実践する。以来、社内ベンチャー支援、イノベーションコンサルティングとスタートアップのアクセラレーションプログラムを手掛ける。

例えば、皮膚再生技術をベースとした INDEE Medical社の創業に携わり、取締役としてエグジットまで導いた。

クリステンセン教授の著作『ジョブ理論』の日本語版解説、『「ジョブ理論」完全理解読本』の執筆、ベストセラー『巻き込む力』の翻訳なども手がける。

幼少期を7年間デトロイトで過ごし、IBM時代もシリコンバレーに1年間過ごす英語ネイティブ。早大理工学部卒。3児の父。
グローバル×ハードなスタートアップをフルハンズオンでサポートするのが信条。

照沼 大

日本ベンチャーキャピタル株式会社(NVCC)
常務執行役員 兼 ベンチャーキャピタリスト
北九州市顧問



アンダーセン コンサルティング(現:アクセンチュア)、株式会社プレステージ・インターナショナルを経て、1998年当社入社。

企業向けソフトウェア関連と通信関連のSEのバックグラウンドを活かして、ソフトウェア、ICT、インターネット、モバイル関連のサービス、製造業関連を主要領域に、アーリーステージ中心の投資を行う。

基幹ファンドのジェネラルファンドの他に、「名古屋大学・東海地区大学ファンド」「京大ファンド」「阪大ファンド」「ATRファンド」をはじめとする多数のアカデミア・ファンドの運用経験と、多数の大手企業のバックアップを受けている基盤を活かし、「スタートアップ×アカデミア×大手企業」の三位一体でのオープンイノベーションの媒介役を標榜。幼少期を過ごした北九州市の顧問も務める。

友永 哲夫

Japan Products, Executive Partner
Japan America Business Initiatives, Board Member
一般社団法人 販路同友会 マスターコーディネーター
シリコンバレー関西ラボ 創設者
神戸ベンチャー研究会
Japan Bio Community



神戸大学大学院理学研究科修了後、ミノルタ(現コニカミノルタ)に入社。アメリカ7年、ヨーロッパ5年間で新事業開発を行い、帰国後は新事業開発部の設立、経営企画部で立ち上げた映像制作会社、ソフト開発会社などの資金調達や、アメリカのベンチャーへの出資など行った。

1998年からシリコンバレーを拠点とし、共同開発を中心に業務提携など協業を行った。Japan Productsでメディアとして海外に情報発信し、Japan America Business Initiatives, 独) 中小企業基盤整備機構、一法) 販路同友会、NEDO NEP カタライザーなどで、クリーンテックや光学、IT分野の国際会議の議長を務めた専門分野のみならず、医療機器、バイオ、フードテックなどの多方面の分野にて、多様なネットワークと30年以上の豊富な海外経験、職務経験から経営者の育成と、日米のスタートアップの事業展開の支援を行っている。

共著: Encyclopedia of Biometrics

LinkedIn :<https://www.linkedin.com/in/ted-tomonaga-2581a8/> (約2,100人)

Facebook: <https://www.facebook.com/ted.tomonaga> (約3,300人)

中井 友昭

株式会社 eftax 代表取締役



2003年東京大学文学部卒。NEDO・SSAフェロー。

事業会社にて経営企画・総務に従事した後、2011年に税理士荒巻政文事務所に入所。2013年株式会社eftaxを設立し、企業のAI・IoT・データ分析の受託開発事業をスタート。企業のマーケティングデータ分析や、画像処理、自然言語処理のAIエンジン開発など、さまざまなプロジェクトマネジメントを経験。

2018年4月からは大阪市内にコワーキングスペースを開設し、起業家向けセミナーなどを毎月企画・開催し、さまざまな専門家とのネットワークを有する。総務、財務、会計・税務から、AI、IoT、ソフトウェア開発まで幅広い経験を有し、スタートアップが会社立ち上げ時に最初にぶつかるさまざまな問題について、アドバイスが可能です。また自身でアドバイスできない分野でも、多様な人材のネットワークを通じ、適任者とマッチングすることもできます。

関西圏において、スタートアップエコシステムの構築に少しでも貢献できればと考えています。

長江 義和

イノバクセル合同会社 代表社員



【略歴】

1997年京都大学薬学部卒、1999年京都大学薬学研究科 創薬化学専攻修了(MSc.)、
2007年早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 国際経営学専攻修了(MBA in
technology management)
薬剤師

1999年万有製薬(株)つくば研究所にて創薬研究に従事し、メディシナルケミストとして
新規医薬候補化合物の創出に貢献。

2006年よりイノベーション・エンジン(株)にてライフサイエンス・ヘルスケア担当キャピタ
リストとして創薬技術、医療サービス等のスタートアップ支援に従事。

2009年にコンサルタントとして独立後、2010年日系HBC(health and beauty care)商
品の中国販路創造を目的として、杭州市において浙江美集成百貨有限公司を共同
創業し、ドラッグストア事業開発を行う。

2011年9月に帰国後、(株)マツモトキヨシホールディングスにて初の海外事業開発に着
手し、タイ・台湾の合弁事業を実現。

2017年、HBC領域を中心として新規事業・海外事業開発を支援する当社を創業し、
大手流通業、製造業、技術シーズを有するスタートアップ企業のサポートを行っている。

『HBC分野における日本・アジアマーケットの知見を軸に、日本発技術シーズの事業
化シナリオ策定、ビジネスモデル構築、販路開拓等のサポートを通じて、企業様・起
業家様に貢献していきたいと思っております。』

中尾 光宏

パスファインダー・コンサルティング 代表

夢を形に！



【プロフィール】

銀行在職中は大阪および東京にて法人担当(外為め融資)として従業。後に支援を行ったベンチャー企業の数社がIPOを果たす。銀行破綻直前にIPO準備のゲーム会社に人事として入社。銀行と180度異なるカルチャーに仰天しながらタレントマネジメントにまい進する。その後ゲーム会社の開発メンバーとともに独立。大手パブリッシャーのIPを活用したゲーム開発で有数のサードパーティーとして業界に知られる存在となる。商業出版を機に独立。独立当初は地域金融機関の融資研修の講師として全国行脚。現在は、スタートアップ支援をはじめ創業的事業承継やPEファンド投資先の事業戦略立案や経営管理基盤構築の支援を行っている。

【略歴】

信州大学経済学部卒。神戸大学大学院経営学研究科修了(マネジメントシステム専攻/修士)。北海道拓殖銀行、ゲーム会社の人事、ゲーム会社の創業(最高財務責任者(CFO))、医療系上場IT企業のCFOなどを経てパスファインダーコンサルティングを創業。元同志社大学、帝塚山学院大学、国立明石高専非常勤講師。公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団 経営塾講師 著書:『お金を借りる秘訣は、お金を借りない努力を10倍すること』クロスメディア・パブリッシング

【ひとこと】

駆け出し銀行員の頃の話です。とある経営者から「(事業の)失敗は必然、成功は偶然」という言葉を聞かされたことがありました。この言葉は現在の支援スタイルの「(意味のない)避けられる失敗は避け、小さな成功を積み重ねながら大成功を目指す」という形で具現化しています。派手さはなくとも着実に皆さんと大成功を目指していきたいと思っています。

中川 卓也

株式会社アカデミック・ギャングスター 代表取締役



1983年京都大学卒業。

事業会社を経て、主に複数の外資系投資銀行に勤務。

- ・キダー・ピーボディ証券 (GEキャピタル) 外国株式部
- ・バークレイズ証券 キャピタルマーケット部 ディレクター
- ・HSBC証券 資本市場部門 マネージング・ディレクター
- ・みずほ証券 グローバル投資銀行部門 事業開発総括部長
- ・ネスレ日本株式会社 総務人事本部人材・組織開発部長
- ・プルータス・コンサルティング エグゼクティブ・ディレクター 等を歴任。

グローバルマーケット、M&A、デット/エクイティファイナンス、デリバティブ金融複合商品、ストラクチャードファイナンス・セキュリティゼーション、PE・ヘッジファンドの資金調達、IR・コーポレートガバナンスアドバイス、組織・人材開発プログラム企画運営、企業価値評価、などに従事。

上場企業、金融機関、スタートアップなどの法人に対して、事業戦略、金融資本戦略、ファイナンス、アライアンス・M&A、コーポレートガバナンス、人材組織開発、役員報酬・従業員向けインセンティブプラン設計、インキュベーターのソフトエッジ構築、などの分野にて伴走型のアドバイスを提供、顧客の企業価値向上に携わる。

中村 智幸

MedVenture Partners株式会社 パートナー



学院修了後、オリンパス株式会社に入社。主に画像処理、撮像/表示系の基礎技術開発に従事し、多数の特許を出願。また在職中に東京工業大学への研究派遣、欧州でのデジタルカメラのマーケティングも経験する。

米国のビジネススクール卒業後、キャリアを方向転換し、三井住友海上キャピタル(株)にて、キャピタリストとして主に技術系ベンチャーへの投資を行う。また在職中(株)デジタルメディアプロフェッショナル(2011年6月マザーズ上場)の社外取締役も務める。その後、プロジェクトマネジメントのコンサルタントとして約4年半ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)に常駐し、日本市場への新製品導入プロジェクトや新製品開発プロジェクト、買収後の統合プロジェクト(Synthes, Micrus等)、売却事業の移管プロジェクト等の支援を行う。

MedVenture Partners参画後は、(株)Biomedical Solutions(監査役)、SonoCore(株)(代表取締役)、PaMeLa(株)、ABK Biomedical Inc.、(株)マリなどを担当し、特にアーリーステージ企業への投資とハンズオン支援を中心に行ってきた。

医療機器業界でのプロジェクトマネジメント、ベンチャーキャピタルでの投資、メーカーでの研究開発と幅広い業務の経験を有する。

西田 健一

元(公財)ヒューマンサイエンス振興財団 技術主幹



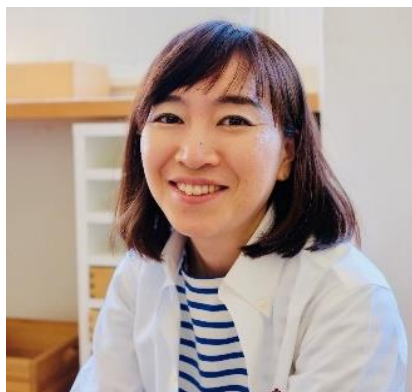
第一製薬(株)及び第一三共(株)にて、循環器代謝疾患及び脳神経系疾患に対する、革新的な創薬探索研究の実践とマネジメント、さらに研究開発企画部門にて、主にアカデミアとの協同を加速するオープンイノベーションの企画マネジメントに携わる。その間に、創薬技術に関連するベンチャー企業の役員を務め、ライフサイエンスの事業化振興に寄与してきた。(公財)ヒューマンサイエンス振興財団では、国内外の革新的な研究開発技術の調査業務に携わる。

東京大学農学部卒、同大学院農学系研究科卒(農学博士)

(自己PR:循環器・血管疾患及び脳神経疾患に対する創薬研究歴が長く、これらの経験を活かした活動や、産学連携プログラムへの経験スキルを活かした、ライフサイエンス案件のイノベーション活動に貢献ができると思います。)

根本 藍

国立研究開発法人海洋研究開発機構



現職は研究成果や技術から実用化・事業化に向けた取り組み、知的財産の活用を担当。特に機構発ベンチャー創出、起業に向けた伴走支援を担う。

Boston University School of Management Graduate diploma in Entrepreneurial Management修了、Boston大学や連携機関との社会課題解決のための大学発技術の商業化プロジェクトに参画、事業計画策定や市場調査担当。

自治体ベンチャーインキュベーションで産学連携コーディネータとして、ものづくり、バイオ系企業への産学連携や販路開拓支援。科学技術振興機構(JST)で地域の産学官研究開発プロジェクトや技術移転支援等を担当。

内閣府宇宙ビジネスコンテストS-Booster等ビジネスコンテストでメンター担当。平成29年度NEDO Technology Startup Supporters Academy(SSA) 第1期修了、NEDO SSAフェロー。理学修士修了。

野口 昌克

サナメディ株式会社 事業開発部 部長



博士(生命科学) 京都大学理学部卒業

学振特別研究員(DC2)として神経難病の病態解明、診断キット・創薬研究に従事後、ドリームインキュベータに入社。ビジネスプロデューサーとして、ディープテック関連のベンチャー投資や支援、大企業に対する新規事業コンサルティング、政府と連携して新産業を行く育成するの産業プロデュース事業を担当。

グローバルヘルスケア企業であるアボットに転職後は、アジアマネジメント育成プログラム(AMDP)に日本人として唯一選ばれ、日本では診断薬・機器事業部の事業開発、医薬品事業部プロダクトマーケティング、シンガポールでは診断薬・機器事業部のアジアパシフィックのエリアマーケティングを担当し、帰国は日本で輸血事業部などを担当。

現在は、ヘルスケアに特化したインキュベータであるサナメディ(旧日本医療機器開発機構)で、事業開発部部長として、ヘルスケア関連ベンチャーへの投資・支援、大企業のコンサルティング、自社事業としての医療機器の上市・販売をリードする。

ディープテック、特にライフサイエンス領域(医薬品、医療機器、診断薬)において、イノベーションを起こそうと目指されている起業家の方に対して、自身のこれまでの経験・知見を活かして、サポートしていければと思っております。

野添 聡

株式会社Save Medical 取締役COO



東北大学大学院工学研究科修了

卒業後、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)に入社し、医療機器の薬事として約5年半で20品目以上の新製品の承認・認証を取得。特にデザインから関わった国内治験では、その治験成績を使用して3つの適応が異なるクラスIV製品の承認を取得。また、Quality & Regulatory Compliance部門にて、Globalと連携したQMS改善、ERP入れ替えなどの業務にも精通。

2019年より(株)Save Medicalの取締役COOとして、スタートアップ経営メンバーとDigital Therapeutics (DTx)の開発業務にも従事。

橋本 英重

ミッドメディア有限会社 代表取締役・ビジネスプロデューサー



2000年、早稲田大学 大学院国際経営学(MBA)終了。
大学発ベンチャー起業として、起業家教育プログラムを提供に従事し、中小企業長官賞を受賞。
早稲田大学インキュベーターマネージャーに就任。大学発ベンチャー起業の店頭公開を指導。

コーポレートベンチャ等の新規事業の立ちあげ、科学技術の事業化サポートなど、事業の立ち上げに多く携わる。専門はスタートアップ事業のプランニングと実務。現場に入り、ハンズオン型の起業を得意とする。

現在、JTB総合研究所の客員研究員として、地域活性化、農泊等に関する調査、コンサルティングをおこなう。また、株式会社情報センター出版局の多言語コミュニケーションツール「指さし会話」をインバウンド向けのコミュニケーションプログラムとしてプロデュースし、コンテンツからの事業開発も行う。事業開発をする組織とその環境、実務運営についての課題と解決を「現場」を通じておこなう。

主な研究分野としては、イノベーション、事業創造を実現するための実践的な「組織論」の構築と実用を目指し、知識創造論の「場」の理論をベースとした「場」の構築について、大学院ビジネススクールの教授や関係者と実戦的理論の構築に従事。

馬場 大輔

NEDOイノベーション推進部 主幹

岐阜大学客員教授、北陸先端科学技術大学院大学客員教授、
長岡技術科学大学客員教授、立命館大学客員准教授、
東京医科歯科大学非常勤講師、秋田大学客員准教授 等



名古屋大学工学研究科博士課程修了(工学博士)

名古屋大学で環境微生物研究に関する博士研究員を経て、
NEDOフェローとして岐阜大学の産学連携部署に着任後、
2018年まで岐阜大学研究推進・社会連携機構に准教授・
URAとして従事

2016年、NEDOヘクロスアポイントメントで出向、2018年NEDO
イノベーション推進部主査へ転籍、2019年から経済産業省産
業技術環境局大学連携推進室で施策・事業立案等に従事。
2023年より現職

産学連携学会理事、上記複数大学客員教員等のほか、
政府機関審査委員、有識者等に就任

産学連携、スタートアップ支援等幅広いテーマで、パネラーや
セミナー講師等を多数務める

深津 幸紀

株式会社ファストトラックイニシアティブ 投資部 アソシエイト



薬剤師、弁護士、ITストラテジスト。
(株)ファストトラックイニシアティブ キャピタリスト（主にヘルス・バイオテック）。

製薬会社のエーザイ株式会社に入社し、社内弁護士としてM&A、事業開発、製造、株主総会関連等の業務に従事。途中、ICT部に異動し、データインテグリエーター、セキュリティー、高速ネットワーク関連PJを主導。その後、大手外資系コンサルティングファームの一時的滞在を経て、2019年5月より(株)ファストトラックイニシアティブに参画。

投資業務をメインにしつつも、地方シーズ創出支援、アドバイザー就任（ex、札幌バイオビジネスアドバイザー）、ヘルスケア・ディープテック支援など、幅広くエコシステム形成に向けて活動。直近では、BlockBusterTokyoで弁護士深津のライフサイエンス起業塾を実施

船橋 保弘

BridgeBoat 代表



BridgeBoat 代表

スタートアップ企業 顧問

名古屋大学未来エレクトロニクス創成加速DII協働大学院プログラム メンター

JST 大学発新産業創出基金事業 専門委員

(略歴)

1981年株式会社ブラザー工業入社。国内外向けの事務機器の新製品開発に従事。1989年より新たな通信事業プロジェクトに参画し、1992年業界初の通信型カラオケ“JOYSOUND”をリリース。1996年JOYSOUND運営会社の株式会社エクシングに転籍。事業開発に従事し、2006年には日本アジア投資株式会社とCVCを設立し、多数のスタートアップ企業に投資を実行するとともに、ハンズオン、協業推進を行った。2016年から3年間NEDOにて、スタートアップ支援プログラムに関わるとともに、多くのスタートアップを担当、支援を行った。2020年よりBridgeBoatの代表として、スタートアップの支援業務に従事している。

一貫して、新規事業開発を担当してきた実績と、15年以上CVCやNEDOの活動を通して行ったスタートアップ支援の経験を生かして、NEP事業者の価値向上のための支援をしたい。

堀内 公博

堀内総合会計事務所 代表



【略歴】

・公認会計士・税理士
・明治大学卒業後、監査法人、税理士法人、銀行(主計部)、証券会社(内部監査部)、事業会社(スタートアップから中小企業(管理本部、経営企画室))にて勤務(海外勤務あり)。

【実績等】

現在、スタートアップから上場企業までの経理業務、M&A(事業承継・PMI含む)、IPO準備支援、経理DXコンサルティング、原価計算・原価管理制度の構築支援、海外進出支援に従事。また、社外監査役にも就任。

本藤 孝

QB Capital合同会社 代表パートナー



外資系大手コンサルティング会社にて、IT及びマネージメントコンサルティングに従事し、数々のプロジェクトに携わる。その後、大手ベンチャーキャピタルにてヨーロッパ、イスラエルへのスタートアップ投資を行う事業部の立ち上げメンバーとして参画する。

フランスのベンチャーキャピタルへの出向などを含め、数々のスタートアップ投資を実施し独立。ベンチャーキャピタルのFGCを創設し、55百万ドル(約65億円)のファンドを組成。同社の代表パートナーに就任し、国内外への投資に関わり、投資先の取締役を歴任。会社設立以前から相談を受けるなど徹底したハンズオンを実施。

シード段階からの出資も手掛け、投資先数社のファウンダーメンバーとして創業し経営に参画。主に九州の大学関連の案件(共同開発を含む)、及び九州出身者など九州に関連した案件に投資を行うQBキャピタルを創設し、QBキャピタルの代表パートナーに就任。30億円のファンドを組成した。20年以上にわたりスタートアップへの投資を行っている。

Eastern Michigan University BBA in Marketing卒 同大 MBA in Finance修了

皆川 朋子

一般社団法人Femtech Community Japan 代表理事



IBM・IBMコンサルティングにて、CRMおよび戦略立案・営業改革等のプロジェクトや、EA(役員補佐)として事業戦略に従事。

英国Cambridge大学へのMBA留学中に欧州各国のスタートアップ調査・デューデリジェンスのプロジェクトに従事。

帰国後は、新規事業・海外進出に特化した独立系戦略コンサルティング会社にて執行役員として欧州・北米・アジア地域のグローバル案件をリードする。

人工知能ベンチャーにて、取締役として事業開発統括に従事。

2019年より独立系VCグローバル・ブレインに参画、投資家として複数のスタートアップ企業への支援・投資実行、女性起業家支援を行う。投資領域として、女性のヘルスケアを支援するFemtech領域などDeepTech領域に注力し、複数のFemtech企業への投資実績を有する。

2021年3月、Femtech Community Japanを設立。2022年7月より社団法人化。

2022年7月よりWomen's Healthに特化したグローバル製薬会社オルガノンにてウィメンズヘルス・コマーシャル部門の責任者を務める。

東京大学工学系研究科応用化学修士、英国Cambridge大学経営学修士(MBA)

宮松 寛有

KAHMジャパン株式会社 代表取締役社長



2014年6月KAHMジャパン株式会社を設立。同社代表取締役社長。

- オックスフォードユニバーシティイノベーション日本事務所・アソシエイトコンサルタント
- 大阪商工会議所コーディネータ
- 一般財団法人ニューメディア開発協会コーディネータ
- Dearman社シニアアドバイザー
- Nomad Digital Japan Office日本代表。
- 一般財団法人 SDGs普及協会 評議員
- ライフサイエンス分野を事例とした関西への対日投資促進研究会 委員

2007年英国総領事館上席商務官に就任、英国最先端の技術をパナソニック、シャープ、JR西日本、関西電力、京セラ、村田製作所等へ紹介、先端英国企業の日本参入支援2006年コグノス社（カナダのビジネスインテリジェンスソフト企業、現IBM）にて金融、製薬、流通業向け経営情報管理システム提案営業

1990年松下電器産業（株）として米国Sequent Computer Systems社と松下グループ初の米国企業との販売合弁企業を設立、革新的な並列処理技術と松下グループのソリューションを基盤にオープンシステムの市場を開拓、及び文部科学省の衛星情報通信ネットワーク基盤構築、国土交通省のアクティブタグ（米国国防総省、英国防衛省で採用）を活用したコンテナセキュリティ実証実験、電子ペーパーを採用した日本初の電子書籍のプロジェクトの技術マーケティング支援。海外ソリューションビジネス展開、ビデオ技術を活用したスポーツコーチング、デジタルサイネージ、監視システムのプロジェクト推進

1985年松下電器貿易（株）で海外最先端技術を調査導入1978年バロース/現ユニシス（株）入社、汎用コンピュータシステムを販売

向林 隆

株式会社アイティーファーム 執行役員 ジェネラルパートナー

立教大学 理学部 物理学科卒業

1982年、日本電気株式会社入社。半導体部門の応用技術者として、世界初の音声認識LSIおよび音声合成LSIの事業化に従事。新規事業開発担当として海外の戦略パートナー企業との協業をコーディネート。

1991年より米国子会社に赴任。マイクロプロセッサ部門の戦略企画責任者の立場で、シリコンバレーのスタートアップ企業への出資、シナジーを活かした共同事業を推進。スタートアップ企業を利用したイノベーション推進の重要性を認識した。

2002年より現職。ベンチャーキャピタリストとして、世界ベースで研究開発型スタートアップ案件の発掘、創業資金の出資をすることに加え、重要想定顧客との事業提携、営業支援、人材調達など、ポートフォリオ企業の事業立上をあらゆる角度から支援できることが持ち味。近年はコンサルタントとして国内大企業における新規事業立ち上げ支援、海外スタートアップとの提携を推進する案件も手掛けている。



宗像 令夫

株式会社PQM総合研究所 代表取締役



東京工業大学院機構工学専攻修了

3Mジャパンを経て(株)リコーにてデジタルカラーMFPを研究開発から主力商品に育成、事業部長として基幹事業を統括。リコーテクノロジーズ(株)常務取締役としてメカトロニクス系新規事業育成を主導。

(株)PQM総合研究所を設立し、認定支援機関として新規創業から事業化・収益化までをコンサルティング・サポートする傍ら、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部よりチーフ・インキュベーションマネージャーの委嘱を受け、大学発スタートアップの事業化ハンズオン支援を行う。

スタートアップ型創業支援スクール(千葉大学、千葉市後援)主任講師

千葉大学VBL(Venture Business Laboratory)メンター

NEDO SSA(Technology Startup Supporters Academy)フェロー

著書「生産革命のためのプロジェクト型品質マネジメント手法PQM」他3冊

森 清華

株式会社Career Creation 代表取締役



早稲田大学政治経済学部卒業

2004年日本アジア投資株式会社に入社後、ベンチャー投資・経営支援、国内通信機器メーカーとの共同ファンド(CVC)運営、管理部門にてIRや予算管理などを経験。2013年に独立、ベンチャー企業の経営管理・労務・人事など管理体制の構築支援を行うとともに、独立系VCのK&Pパートナーズ株式会社の創業メンバーとして、大手企業とベンチャー企業間の事業連携支援など、企業の成長支援に従事。

2015年よりキャリア支援を開始。現在、人と組織の自律的な成長を後押しするためのキャリア開発・人材育成事業を展開。法人向けキャリアコンサルティングおよび教育研修、組織コミュニケーションデザイン支援、イノベーション人材育成メンタリング等を実施。また、最前線で活躍する経営者を中心に、人のキャリアをテーマとしたラジオ番組の運営・パーソナリティを行っている。

VCでの投資・支援経験や、キャリアコンサルタントの専門性を活かしながら、起業家の方々に寄り添うパートナーとして、未来の創造に向けてともに歩んでまいりたいと思っております。

フォレストリサーチ & コンサルティング株式会社

代表取締役社長

森公認会計士事務所 代表

森 雅司



大手監査法人にて監査を経験後、会計事務所設立、M&Aコンサルを経てIT系事業会社にて内部監査に従事。現在は、内部監査業務受託、業務改善コンサルティング、資金調達支援から会計・税務業務まで幅広く実施する。

2018年度国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が実施した研究開発型ベンチャーの支援人材を育成する高度専門支援人材育成プログラム「Technology Startup Supporters Academy(SSA)」を修了。

2020年10月、SDGs支援・新規事業支援の新会社設立。

高校生向け起業教育「DECA JAPAN」メンター、「ハロー！会計」(小学生～高校生に会計の大切さ・面白さを伝える会計士協会のボランティア活動)など教育活動も実施中。ドラッカー学会理事、社会福祉法人厚生会監事も努める。

東京都江戸川区生まれ。早稲田大学商学部1998年卒業。

安友 雄一

オフィス エイトックス 代表



昭和56年3月北海道大学大学院工学研究科原子工学専攻博士後期課程修了（工学博士）
昭和56年4月ブラザー工業株式会社入社。
昭和58年4月ブラザーの新規事業としてニューメディア領域の探索を開始。
昭和61年5月パソコンソフト電子流通システム「ソフトベンダータケル」を社内ベンチャーとして立ち上げ収益化に成功。
平成4年5月ベンチャー事業立ち上げのために株式会社エクシングを設立（カーブアウト）し、代表取締役就任。通信カラオケ「JOYSOUND」を立ち上げ、成功させる。以降、エクシングでは、携帯電話向け着メロ（ポケメロジョイスOUND他）等のコンテンツビジネスを推進積極展開し、今日の B2C コンテンツデリバリー事業の草分けとなった。
平成15年4月ブラザー工業にてグループ横断の新規事業／ベンチャー投資事業をスタート。
平成18年1月ブラザーグループ CVC（JAIC ATOP）を組成・運用し、高いパフォーマンスを達成。
平成25年2月ブラザー工業定年退職。引き続きブラザー工業グランドマスター就任し、ブラザーにおける新規事業を担当する。
平成26年8月NEDO技術委員。
平成30年2月ブラザー工業グランドマスター退任。
平成30年4月オフィス エイトックスを設立。スタートアップ支援事業推進。

吉川 正晃

株式会社 Human Hub Japan 代表



元:大阪市経済戦略局理事(民間公募採用)。大阪市のイノベーション行政全般に携わる。大阪イノベーションハブ創立メンバーの一人であり責任者。民間時代は、大手企業内のIT関連ベンチャー企業の経営や新事業開発を行い、国内外のベンチャー企業や大学・研究機関との提携も行う。マンチェスター大学、名古屋大学、東京大学などと共同で製品を開発し、大企業との販売提携実績がある。大企業とベンチャーとの連携を重視して活動中。

現在、阪急阪神不動産(株)、(社)日本スタートアップ支援協会、ベンチャー企業等の顧問を務める。Forbes(Japan)「88人のローカルイノベータ」(2017年)の一人に選出。中小企業診断士。会社URL:<https://human-hub.jp>

(Key Words)産学官連携、大企業連携、医用画像処理、数値解析、HPC、海外進出、うめきた2期、人材流動化

吉野 均

ブラザー工業株式会社 新規事業推進部 主幹



東京理科大学 理工学部卒業後、ブラザー工業株式会社に入社。
30年以上にわたり、様々な新規事業に挑戦し続けている。企業内起業家として自ら新規事業を推進する一方で、スタートアップの起業家を支援し、産学官連携やオープンイノベーションを活用した多岐にわたる分野で新規事業開発に取り組む。

産業用分野では、多数の工作機械の技術開発・新商品開発に参画。また、国内最大手の半導体装置メーカーとの協業を通じて、自らそのメーカーに籍を置き相手先の新規事業としてエッチング装置の開発に従事する。

民生用分野では、レーザー走査型のウェアラブルディスプレイの研究開発をリードし、PoCを実施し万博への出展を実現。また、プロジェクション関連機器の新規事業などを推進する。通信・ネットワーク関連分野では、スタートアップの技術を活用したヘルスケア領域に関わるコンテンツビジネスを創出する。またM&Aに係る事業戦略の構築に携わる。

その他、失敗多数。

新規事業の推進と並行して、2006年からはCVC活動を通じてスタートアップへの支援を開始。また2019年から3年間、NEDOにてスタートアップ支援事業の制度設計と公募を推進し、多くのスタートアップの成長を支援。

現在、環境・エネルギー領域などの新規事業開発やCVC活動(ファンド出資、直接投資)に従事中。

多くの挑戦から得た学びと幅広い新規事業経験を活かし、触媒(カタライザー)として良い化学反応を促進し、皆さんと共にワクワクする未来を創っていただけることを楽しみにしています。

渡邊 安弘

Seed Technology Capital Partners 代表



慶應義塾大学環境情報学部卒業。

日本合同ファイナンス(現ジャフコ)投資部にて投資活動を行う。その後、アイエヌジー生命保険(現エヌエヌ生命)を経て、2000年2月 独立系VCファンド、インキュベイトキャピタルパートナーズ(現インキュベイトファンドの前身)設立、情報通信関連のシードステージに特化した投資を行う。主な投資先はファンコミュニケーションズ、オーブンドアなど。

2007年2月に自然言語処理と機械学習に特化したStudio Ousiaを共同創業。

独立系ベンチャーキャピタルファンドの運用歴20年。企業の創業からIPO、M&Aまで一貫して行なってきた経験を多くの将来性ある起業家に提供し支援させていただきたいと考えております。